

ルド豊富である。

15m滝を越えると、あとは平凡となった。沢が右に曲がると、水量も少なくなる。12:45遡行終了。あとは右岸の古い踏跡を使って戻る。踏跡は15m滝の先で左岸に渡り、小尾根上を下って、への沢出合近くで林道南沢線に合流していた。

(記)

[タイム] への沢出合(12:25)→への沢終了(12:45)→山本不動尊(13:30)

### 南沢支流トの沢左俣、中俣、右俣

1988年7月23日

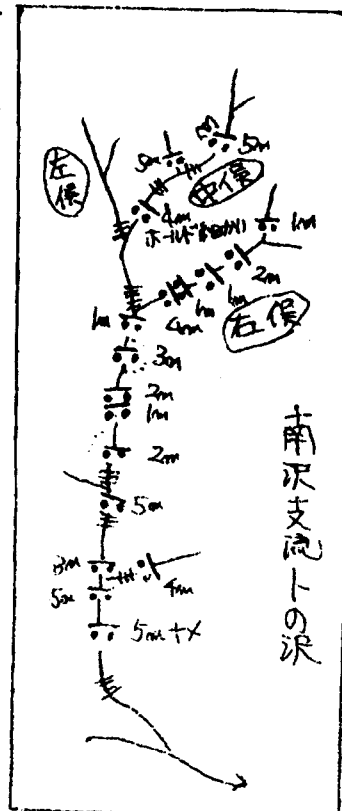
ヌの沢(仮称)終了後、尾根を越えてトの沢(仮称)へ。10:20下降開始。急な斜面を下って左俣源頭へ出る。細い流れについて下ると、平凡なままで中俣との合流点に出てしまった。

中俣は、源頭近くだということを考えると、まあまあの沢であった。まずは4mの滝。直登するが、ホールドは細かった。そしてその先沢の行く手を阻むようにして岩場が出現。その右端が5mの滝となっている。直登するが、ここもホールドが細かった。5m滝の奥でまもなく水流が消えたので、遡行終了とする。

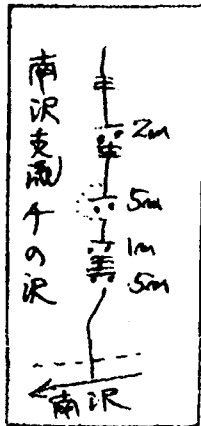
引き返して少し下ると、右俣出合。右俣は4mの滝があっただけで、あとは平凡であった。

再び下降を続ける。小滝が続くが、下るのにちょっとホネのあるのが出てくる。もっとも掛けば簡単である。やがて5mの滝。左岸をクライミングダウンするが、ちょっときつかった。この後も小滝が出てくる。でもホールドが豊富で、クライミングダウンしたり、フリクションをきかせて下る。

前方に南沢の本流が見えてくる。もうこれで終りかと思ったら、沢は大きく左に曲がり、カレ沢となる。本流との合流点まで意外と距離があった。



【タイム】 トの沢左俣下降開始(10:20)→中俣出合(10:25)→中俣終了(10:35)→  
右俣出合(10:45)→右俣終了(10:55)→下降終了(11:20)



### 南沢支流チの沢

1988年7月23日

12:05チの沢(仮称)の下降開始。小さな沢である。5m滝が二つ出てきた。最初の5mは右岸のザレ場を下る。次のは右岸をクライミングダウンした。

前方に杉林が見えてくる。すぐ林道南沢線に出て、下降終了。

(記)

【タイム】 チの沢下降開始(12:05)→下降終了(12:20)

### 南沢支流りの沢右俣，左俣

1988年7月23日

11:25りの沢(仮称)の遡行開始。出合のすぐ奥にある7m滝はシャワーで直登する。その上の10mナメ滝も、ホールド多く楽に直登した。

二俣となる。まずは右俣へ。ここは平凡。5mのナメ滝があっただけで、すぐに水流も消えてしまった。右岸山腹の古い踏跡をたどって二俣まで戻る。

左俣へ。少し進むと、7mの滝が出てきた。シャワーで真中やや左よりを直登する。ホールドはあるが、ちょっと緊張した。このあとは1~2mの小滝が出てくるだけで、平凡になる。

11:50源頭。チの沢(仮称)の下降に移るため、左手の小尾根をめざす。

【タイム】 りの沢出合(11:25)→右俣出合(11:30)→  
右俣終了(11:35)→りの沢終了・尾根(11:50)

